

奇跡的なラストシーンが静かな感動を呼んで… 各界著名人から絶賛コメント到着!

本当に美しい……大好きな映画!

★★★★★ ジュゼッペ・トルナトーレ | 『ニュー・シネマ・パラダイス』監督 |

素晴らしい!
完璧で、感動的で、まるで輝く宝石のようだ。

★★★★★ パオロ・ソレンティーノ
| 『グレート・ビューティフル』(追憶のローマ)監督 |

きめ細かく上質な風味。
厳選され抽出されたエスプレッソの様な作品。
ひたすらに素晴らしい。

★★★★★ 斎藤工
| 俳優 | (オフィシャルブログより抜粋)



人はまれに、
神様が書いた美しいおとぎばなし
に出会う時がある。この映画を観た後、僕は強くそう思った。

★★★★★ 松浦弥太郎
| 暮らしの手帖編集長・エッセイスト |

一人ぼっちで死ぬのも悪くない。
こんな人が最期にいてくれるなら。
いつの間にか、主人公の笑顔に癒されていた。

★★★★★ 島田裕巳 | 宗教学者 |

見知らぬ死者の部屋に入り、彼らの人格と対話すること。
そこに生まれる愛の時間は、
心の癒しのアートだ。

★★★★★ 山本容子 | 脚本家 |



観終わった後に、こみあげてくる数々のセリフ、
場面の意味、今生きていることの素晴らしさ、
小津映画のような、静かな饒舌さ。
エディ・マーサンが素晴らしい!

★★★★★ 小堺一機

優しさに満ちた生き方をすれば逝くときは
美しくて感動的。
日本らしい考えが溢れる傑作!

★★★★★ LiLiCo | 映画コメンテーター |

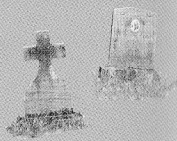
主人公の仕事は、他人からは無意味とも
思えるものかもしれないがその行為で繋がる人がある。
ふたたび人生を歩める人がある。

人生に真摯に向き合うことの
大切さを教えてくれる。

★★★★★ 飯泉太子宗 | 仏像修復士 |

この映画の主人公は、死者というモノ言わぬ人間の痕跡が
この世界を横切っていくことの愛おしさを、
その真摯な人生を通じて
惜しみなく私に教えてくれた。

★★★★★ 砂田麻美 | 『エンディングノート』監督 |



小さなモノリアルな音が登場人物すべての
人生を細やかに語る。映像が残すささやかな余韻は
実に俳句的。最後の一分、
静かに豊かに深い感動が
押し寄せる。

★★★★★ 夏井いつき | 俳人・エッセイスト |

誰にも気付かれない優しさは、
いつか報われる日が来る。
そのことを実感するラスト・シーンに感動しました。

★★★★★ ピーター・バラカン | ブロードキャスター |

こんな感動の仕方があったのか!
エンドマーク1分前にいきなり襲って来る感涙。
本当に驚いた。

★★★★★ 倉本美津留 | 放送作家 |

こんな人、日本人もいるよね、と自問して観ていたら、
登場人物がみんな日本人に見えてきた。
死者の思いを探しあてた遺族に伝える
主人公の崇高な心情にふれ涙があふれた。

★★★★★ 志茂田景樹 | よい子に語り聞かせ隊隊長・作家 |

できればこの映画、強くお薦めしたくない。
ふと入った映画館で、存外の洒落た一篇に出会い、
シミジミと或る人物の死を悼み、退出する……。

心の宝物にしたいような逸品です。

★★★★★ やくみつる | 漫画家 |



おいしい!

ジョン・メイ変化のポイント

- いつも紅茶 ココアを飲んでみる
- 甘いものは苦手 アイスcreamを1口
- 毎夕食、魚の缶詰 失敗しても料理してみる
- お酒は飲めない



冷たい

揚げちゃった…



ゆったり♪

- 欠勤はしない 極病
- 毎日同じスーツ フルーのセーター 気分転換
- 横断歩道は常に左右確認

自分の時間

誰も来ない誕生日よりも
誰も来ないお葬式の方が何倍も淋しいことに気が付き、
生きている間にもっと
人と関わらなければと切実に思いました。

★★★★★ 辛酸なめ子 | 漫画家・コラムニスト |

主人公の愚直なまでに真心に生きる姿に、
心が和みました。
生きることは死をも含めてのことであり、
死に優しい社会は生にも温かいと思います。
ジョン・メイありがとう!

★★★★★ 南こうせつ | フォークシンガー |

地味なのにまったく退屈しません。しみりした、
とても気持ちのいい映画でした。

★★★★★ 養老孟司 | 東京大学名誉教授 |

生きるのも、この世から旅立つのも、
ひとりのようにいて孤独じゃない。
心がじんわり、暖まります!

★★★★★ 香山リカ | 精神科医 |

孤独で、淋しくて、悲しい生き物人間。ラスト10分、
思いもよらぬ感動におそわれた。
人間っていいなあ、映画っていいなあ。

★★★★★ 鎌田實 | 医師・作家 |

衝撃的な結末ののちに 哀しみに沁みだしたところが
一瞬にして温もりに包まれました
人は死してからも 最愛のもしくは最高の親友に
出会うことができるのかもしれない

★★★★★ KIKI | モデル |



(敬称略/順不同)

人と出会い、死と向き合い、人生が輝きだす— ある新聞記事から生まれ、世界が認めた物語

ロンドン市ケニントン地区の民生係ジョン・メイ。仕事はひとりきりで亡くなった人を弔うこと。真面目に誠実に仕事をこなすジョン・メイだったが、仕事も私生活もいつもひとり。しかし、ある日、亡くなった男の身寄りを探す旅の過程で今まで出会うことのない人と関わることで彼の人生も輝きだす—